

12月チャプレンだより

「最高の贈り物」

保育園の子供たちの朝礼拝の時に、「もうすぐクリスマスですね。イエス様の誕生をお祝いするために、遠いところから、3人の博士がやってきました。博士たちは、イエス様の誕生をお祝いして素敵なプレゼントを用意しました。3人の博士たちのプレゼントは、いったいどんなプレゼントでしたか。知っているおともだちはいますか？」って、子供たちにたずねましたら、年長のモーセ組のひとりの男の子が、「はいーっ！」と元気よく手を挙げて、「はい！それは、黄金（おうごん）、乳香（にゅうこう）、没薬（もつやく）です！」と、大きな声でこたえました。あまりにも完璧な答えにビックリ仰天してしまいました。

黄金は、金のことです。金は現代もそうであるように古代から貴重な品物でした。

乳香は、ミルクに似ていることから乳香と呼ばれるようになりました。体の不調を回復させ、身体を健康に強く保つ力があり、不安や緊張、強迫観念を取り除き、美しさと健康を保つ効果もあるそうです。古代の近東では、大変に高価なものでした。

没薬は香料です。祈りや聖なる儀式の場で、お香として焚かれるなど、神に捧げられる神聖な供物として扱われて来ました。古代世界では、香水、塗る油としてより広く使用され、薬用強壮剤としても使われてきました。緊張や不安を取り除き、気持ちを穏やかにする心への作用、口内炎や咳、気管支炎、胃腸の働きを整える作用もあるようです。防腐作用が強く、古代エジプトではミイラを作る時に使用され、イエス・キリストも十字架の後、布で巻かれ葬られたとも言われています。博士たちは、イエス・キリストが犠牲的な死により、人々を救いに導く王であることを予測して没薬を贈ったとも言われています。

園児の子供たちと、「お父さん、お母さん、そして保育園の先生たちに贈ることができる最高のプレゼントはいったい何か」、みんなで話し合いました。そして、子どもたちと一緒に考え出した答えは、「わたしたちには、3人の博士たちのように、黄金、乳香、没薬など、高価なプレゼントはできないけれども、お父さん、お母さん、保育園の先生に、喜んでもらえる言葉を贈ろう、ということになりました。それは、3つの言葉です。

① ありがとう。

どんなに小さなことでも、お父さん、おかあさん、先生に、感謝をつたえよう。

② ごめんなさい。

どんなに小さなことでも、お父さん、おかあさん、先生に、正直に、あやまろう。

③ 大好き！

どんなにいやなことがあった日でも、お父さん、おかあさん、先生を抱きしめて、笑顔で「大好き！」って言おう。

これが、こどもたちが、一所懸命に考えた贈り物です。

おとうさん、おかあさん、先生たちも、こどもたちに同じ言葉を、心を込めて返すことができれば幸いですね（笑）メリークリスマス！

石川三育保育園チャプレン 北 睦夫